

報道関係各位

海陸空の交通3社連携ー佐渡汽船・JR東日本・JALー 「佐渡島、忘るべからず。」キャンペーン 2025年春スタート

佐渡汽船株式会社（以下「佐渡汽船」）、東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社（以下「JR東日本」）、日本航空株式会社 新潟支店（以下「JAL」）は、連携して佐渡島の観光誘致を目的としたキャンペーン「佐渡島、忘るべからず。」を、2025年3月より開始いたします。



官民一体でのキャンペーン「佐渡島、忘るべからず。」

このキャンペーン「佐渡島、忘るべからず。」は、佐渡島の観光振興を目的に、佐渡汽船、JR東日本、JALの3社に加え、佐渡市、新潟県とも連携し、官民一体となって実施いたします。

2024年7月に「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録されたことを受け、佐渡は国内外から大きな注目を集め、観光客も増加傾向にあります。しかしながら昨年夏の首都圏調査では、「金山・トキ・たらい舟・佐渡おけさ」といったニュースやパンフレットに取り上げられる情報以外は、ほとんど知られていないという結果がでています。金山など以外にも、佐渡の豊かな自然や歴史、文化、食、アクティビティといった知られていない魅力が数多く存在します。本キャンペーンでは、こうした情報を広く発信し、さらなる観光誘致につなげるため、民間企業と自治体が連携し、大規模なプロモーションを展開いたします。

現在検討・準備中の施策として、船舶、鉄道、航空、それぞれのメディアを活用した情報発信、ホームページ・SNSの活用など、まずは、佐渡のさまざまな魅力を広め、認知を高めていくことから始めます。

3月20日からは、首都圏を中心にTVCMの放映を開始しました。さらには、大規模な屋外広告の展開や、YouTube広告の配信、機関紙での佐渡紹介など、また、キャンペーンに合わせたキックオフイベント、各メディア・インフルエンサーの取材誘致を通じたPR活動の実施、インバウンド誘致に向けたプロモーションなど、幅広い層に佐渡島の魅力を伝えてまいります。

本取り組みでは、佐渡島内外の民間事業者の皆さまにも積極的な参画を呼びかけております。旅行会社や観光関係事業者など、地域全体での観光活性化を推進してまいります。佐渡島を一過性の観光地ではなく、何度も訪れたくなる持続可能な観光地として発展させることを目指してまいります。

「佐渡島、忘るべからず。」TVCMスタート

佐渡汽船株式会社（本社：新潟県佐渡市、代表取締役社長：尾渡 英生、以下「佐渡汽船」）は、佐渡島の観光誘致・地域創生を目的とした「佐渡島、忘るべからず。」キャンペーンの一環として、3月20日より首都圏などでTVCMの放映を開始。これとあわせ、各種のプロモーション施策を展開していきます。



TVCMについて 佐渡ゆかりの世阿弥と子孫・観世三郎太さんが600年越しの祖孫共演

このTVCMでは“知られざる佐渡島の魅力”を美しい映像とともにお届けします。佐渡は、金山やたらい舟だけでなく、唯一無二の自然景観や独自の歴史文化を持っていることを紹介した映像です。

また、キャッチコピーには「佐渡島、忘るべからず。」を採用しました。これは、能の大成者・世阿弥が著書『花鏡』の中で記した「初心忘るべからず」に由来しています。世阿弥はかつて佐渡島に流され、その地で晩年を過ごしましたが、その言葉は時代を超えて受け継がれ、芸事のみならず人生訓としても広く知られています。CMでは、この「忘るべからず」に佐渡島の魅力を重ね、訪れた人々の記憶に残る場所であることを伝えています。

CMで、そのナレーションを務めるのは、世阿弥の直系子孫である観世流シテ方 能楽師の観世三郎太さんです。約600年の時を超え、コピーライター＝世阿弥の言葉をナレーター＝観世三郎太さんが詠じます。壮大な自然や歴史的な風景の中での世阿弥と三郎太さんの共演が響き渡ります。

■TVCM概要

タイトル：「佐渡島、忘るべからず。」篇(30秒) URL：<https://sadotimes.sadokisen.co.jp/tvcm/>

放送開始：2025年3月20日(木) 放送エリア：首都圏・新潟県

ナレーション：観世三郎太



観世流能楽師 二十六世観世宗家観世清和の嫡男。父に師事。

1999年生まれ。幼少より父の稽古を受け5歳、能「鞍馬天狗」花見にて初舞台。以来「翁」「道成寺」「乱」「石橋」「鷺」「安宅」など数々の大曲を勤め、次世代を担う若手能楽師の筆頭として、国内はもとよりニューヨーク、フランス、ローマ、ケルン、上海など海外公演も行なう。とりわけ2016年7月 ニューヨーク・リンカーンセンターにおける招聘公演へ父・観世宗家と共に出演し連日満員の盛況で批評家から極めて高い評価を得るなど大成功を収めた。令和元年10月 天皇陛下御即位に伴う「即位礼正殿の儀 内閣総理大臣夫妻主催晩餐会」に各国元首・代表・祝賀使節団へ父・観世宗家と共に能を披露する。

令和5年 政府からの要請で G7広島サミット 内閣総理大臣夫妻主催社交夕食会にて、G7首脳らへ我が国の伝統芸能を代表し能「石橋」を演じ、岸田文雄内閣総理大臣より感謝状を賜わる。

(一財) 観世文庫常務理事、(一社) 観世会副理事長。

TVCM「佐渡島、忘るべからず。」で紹介された佐渡島の名所

■ニツ亀



ニツ亀はまるで二匹の亀がうずくまるように見える絶景スポット。海水の透明度は佐渡随一。「日本の快水浴場100選」に選ばれた。ミシュラン二つ星の景観を満喫しよう。

■清水寺



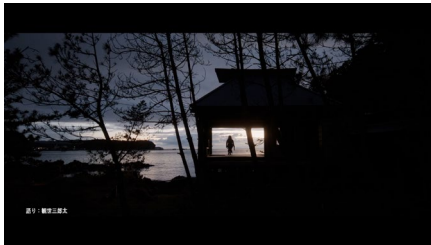
808年、京都から布教に訪れた賢応法師により開かれた「清水寺」。天へと続く杉並木の石階段を上がると、京都の清水寺を模した「救世殿」が迎える。舞台からの眺めは格別。静寂に包まれた空間で、心を整えるひとときを。

■宿根木



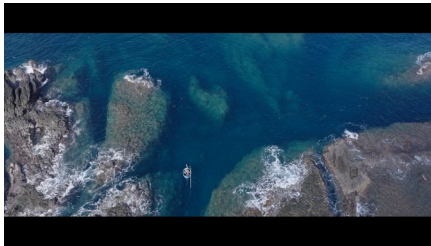
宿根木集落は、かつて佐渡金銀の積出港として栄えた町。舟板を使った板壁の民家が密集する景観は、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。三角形の家屋や狭い路地にはどこか懐かしい雰囲気漂う。

■旧山本悌二郎別邸



佐渡出身の農林大臣・山本悌二郎が、明治44年に建てた別荘。流木や天然木を巧みに用いた造形美と、宮大工の技が光る建築は、日本でも類を見ない空間だ。静かな入江にたたずみ、まるで俗世を離れた桃源郷のよう。

■万豊敷



広大な溶岩帯が広がる「万豊敷」は、ウユニ塩湖のような幻想的な景色が楽しめる。潮の満ち引きによって海水が溜まると鏡のようになり、特に夕暮れ時には空の色が美しく反射する。

■鬼太鼓



打ち鳴らされる太鼓の音と提灯持ちの威勢のよい掛け声に合わせて、時には飛ぶように、時には静かなる舞を見せる鬼。集落ごと100を超える団体がある。佐渡の鬼は地域と暮らしを守るヒーローとされ親しまれている。

■新能



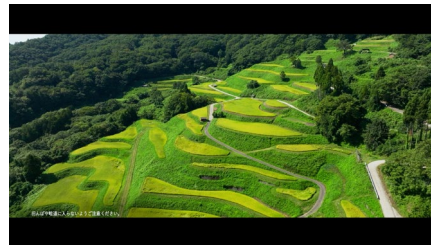
1604年に佐渡へ赴任した代官、大久保長安が能楽師集団を連れ来島したのが始まりとされる。今も各地の神社の境内には能舞台が現存。6~8月の夜にかがり火を焚いて上演される新能は実に幻想的。

■トキ



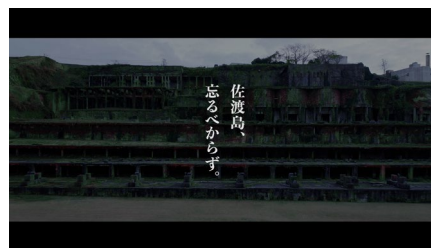
「トキのテラス」は、佐渡のシンボル・トキを間近に感じられるスポット。屋内観察室には望遠鏡が設置され、運が良ければ野生のトキに出会えるかも！屋上からは広大な国中平野を一望でき、四季折々の美しい風景が広がる。

■岩首昇竜棚田



標高350mを超える山間に広がる「岩首昇竜棚田」。江戸時代から受け継がれた田が約460枚、龍が天空へ昇るように連なる。春先には水を張った棚田に朝日が差し込み、幻想的な光景が広がる。展望小屋から眺める景色はまさに圧巻。

■北沢浮遊選鉱場



日本で初めて浮遊選鉱技術を採用し、毎月5万トンもの鉱石から金銀を精錬していたことから「東洋一」の設備と言われていた。遺構が今もそのスケールを物語り、夜にはライトアップで幻想的な雰囲気に包まれる。

* 上記の情報は、「さどタイムス」より（一部抜粋）

- 「さどタイムス」では佐渡の観光スポット、文化・芸能、グルメなどを総合的・網羅的にご紹介。 <https://sadotimes.sadokisen.co.jp/>
- 本TVCMとあわせ、YouTube、駅広告等にて佐渡の魅力を発信中。

【報道機関お問い合わせ先】

● 佐渡汽船株式会社 グループ企画業務部 Tel 025-245-2281